



お答えいただいたのは…



君島乳腺クリニック
院長 君島伊造先生

昭和28年、福島市生まれ。同53年、福島県立医科大学を卒業後、同大学第2外科入局。昭和62年、同科 乳腺グループチーフ、以降、乳がんの臨床、研究に従事。北福島医療センターを経て、令和4年に小島元子医師のクリニックを承継して「君島乳腺クリニック」を開院。

乳がんになりやすい要因は？

最新のデータによれば、一生のうちに女性9人に1人が乳がんになるとされます。乳がんのタイプはいろいろですが、7割余りは女性ホルモン(エストロゲン)に依存して増殖します。乳がんになりやすい因子(リスク因子)として、「肥満(特に閉経後)」「高身長」などの身体特徴、「乳がんの家族歴」などの遺伝的な要因、

身体的特徴や遺伝、出産・月経要因、食習慣が影響 閉経後も乳房内女性ホルモンは高く、むしろ高リスク

「更年期障害治療としての」長期のホルモン補充療法」「放射線被ばく」などが挙げられ、その他「初産年齢が高い」「初経が早い」「初経が遅い(生殖可能期間が長い)」「アルコール過剰摂取」「肉、乳製品などの過剰摂取」との関連性も指摘されています。喫煙は、他臓器の

高齢者は乳がんになりにくい？

外来で話をしていると「歳をとったから乳がんにはかからない」という認識の方が多いの

に驚きます。年齢別の乳がん発生率(左の二次元コード参照)は、30歳後半から急に上昇し、45～50歳でいったんピークになります。その後また、徐々に上昇し、最も高いのは65～75歳あたりです。では、なぜ閉経後も乳がんが発生し続けるのでしょうか。

閉経すると卵巣からエストロゲンがなくなりますが、副腎で作られる男性ホルモンは血中にたくさん存在します。これが乳房内のアロマトーゼという酵素でエストロゲンに作り替えられ、閉経後も乳房内のエストロゲンは高いままなのです。



年齢階級別罹患(りかん)率のグラフは上記の二次元コードから

この酵素は脂肪組織に広く分布するため、肥満女性の血中エストロゲンは上昇し乳がん発生を促進すると考えられます。現在はアロマトーゼを抑える薬が、乳がん治療に使われています。



君島乳腺クリニック

KIMIJIMA BREAST CLINIC

TEL024-528-8511

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30 (受付 11:30まで)	君島	君島	小島	君島	君島	君島
14:00～17:00 (受付 16:00まで)	君島	君島	/	君島	小島	/

君島 伊造：乳腺外科

小島 元子：内分泌内科

診療科目

乳腺外科・内分泌内科

休診日：日曜日・祝日

君島乳腺クリニック

検索



福島競馬場